

行雲流水

No. 9 令和3年4月6日発行

本校教育活動の始業にあたって（校長式辞）

校長 寒河江 正人

「令和3年度・1学期」授業日数**76日間**のスタートです。

今、人類は、全世界で猛威を振るう「新型コロナウイルス感染症」の脅威と闘っています。
感染者の数は、**1億3000万人**を超えました。

亡くなられた方の数は、**280万人**を超えました。

全世界では**1億6800万人**の子どもたちが学校に通えない状況になっていると聞きます。

私たちの日本・山形県・東根市だって、神町中学校だって、例外ではありません。

早い段階での収束・終息の見通しは、立っていません。

きっと「**長い闘い**」になりそうです。

授業、学校行事、生徒会活動、部活動、お友達と楽しくお話をすること、等々。

本来なら普通にやれたこと、それと同じことができないことも、あります。

そのことで、誰かに「不平不満や誹謗中傷」をまき散らすことは、たやすいこと。

でも、そんなことで事態は、決して解決しません。

だからこそ、みんなで建設的に知恵を出し合い、協力し、工夫をして、前に進むのです。

私たち「**人類の知恵**」が、今、試されているのです。

「**Think global, Act local.**」（シンク グローバル、アクト ローカル。）

地球規模で物事をとらえ、自分の住んでいる地域で自分にできることを具体的に活動する。

「**粘り強い、長期戦の覚悟**」が必要です。

必ずや、「新型コロナウイルス感染症」に打ち勝ち、充実した学校生活を実現しましょう！

一方、このような危機的な状況下にあっても、

県内各地で「**桜の開花を知らせる便り**」を耳にするようになりました。

本校の桜も、土曜日から咲き始めました。まもなく見事な満開の姿を見せてくれるはず。

明日には、君たちの後輩となる「**新入生145名**」が入学します。

さあ、君たちは、新しい1年間のスタートラインにつきました。

昨日までの「過去」は、もう振り返らない。「過去」は、決して引きずらない。

「過去の事実」は変えられないが、「未来の事実」は変えられる可能性がある。

「新しい自分」を育てる、「新しい歴史」を刻むのは、君たち自身一人ひとりです。

君たちの「**成長しようとする心と行動**」を、本校の教職員43名全員で支えていきます。

いっしょにがんばりましょう！！